

令和6年度(第46期)事業報告書

I. 当期の経営概況

令和6年4月、厚生労働省より「令和6年度地方労働行政運営方針」が公表されましたが、この運営方針では、昨年度の運営方針に引き続き現在のわが国の状況を踏まえ、「少子高齢化」「生産年齢人口の減少」の課題について言及され、また急激な物価上昇に対する賃上げの実現についても見解が示されています。

一方、富山県の人口減少の現状として、1998年には112万人のピークを迎えた人口が、右肩下がりに減少し、2024年には99万人となり75年ぶりに100万人を割りました。富山県では、人口の自然減と社会減の抑制に向けて、「富山県人口未来構想本部」を立ち上げ、「子育て支援・少子化対策、産業振興、担い手確保、労働生産性向上」などに取り組む構想を取りまとめています。

労働生産人口の減少が及ぼす影響として、採用難による企業の規模縮小や従業員の平均年齢上昇による健康リスクの顕著化などがあげられますが、企業にとって少子化の進行によって、より働き方や健康経営の問題がクローズアップされる社会状況となってきました。

当協会の教育・相談事業として、企業からの要望に応えた試み(健康経営の取り組みに対するアドバイス、出張健康セミナー、ヘルスリテラシー教育等)をはじめ、以前より県内企業の健康経営に対するニーズが見られるようになってきており、人口減少を背景とした雇用状況の変化により、人財戦略のひとつとして健康経営に取り組む企業が増えているのではないかと考察されます。

こうした中、当協会では働く人の健康管理や職場のメンタルヘルスの向上を目指し、一般健康診断・特殊健康診断、事後措置のための二次健康診断、がん検診、特定保健指導や労働者の健康保持増進、ストレスチェックや職場環境改善、カウンセリング等を推進。また、事業場が加入する医療保険者のニーズに応えるため、中高年労働者を中心とした生活習慣病予防健診、人間ドック、脳・心臓ドックや特定健診・特定保健指導等の体制づくりに注力しました。

組織関連では、令和6年4月に新システムが本格稼働を開始。健診業務プロセスの効率化やX線画像システムや生理検査システム、その他の部門システムとのデータ連携が完了し、品質向上や納期短縮などに効果が現れました。今後はさらなる顧客サービス向上と効率化のため、業務改善を図っていく予定となっています。また、ISMS(情報セキュリティマネジメントシステム)関連では、次年度に迎えるISO27001認証の更新に合わせ、厚生労働省のガイドライン第6.0版への対応と情報セキュリティ要件の整理を引き続き行います。

業績では、事業収益全体は、2,966百万円(前期2,838百万円)となり、対前期比で104.5%の増収となりました。増収の内訳は巡回健診事業が前年並み、各施設健診事業で経常収益が微増となり、また、健康増進事業、クリニック事業では増加となりました。当期経常増減額は、117百万円(前期114百万円)で102. %の増益となりました。

II. 調査研究および普及啓発事業(継1事業)

1. 調査研究

健診結果データをまとめた事業年報は、令和4年度の1年間分とし、5月に発行しました。研究発表では、第32回日本消化器関連学会週間(JDDW)2024神戸や第53回日本総合健診医学会などで学会発表を行いました。

区分	令和6年度	令和5年度
事業年報	450件	480件
研究発表	4件	6件

2. 普及啓発

広報誌発行では、事業場や団体、関係機関向けに年4回の配布を実施しました。

健康セミナーは現地参加方式で2月に実施しました。その他、他機関・団体の行うキャンペーンへの協力として施設内ポスター掲示やWebでの広報、事業所へのパンフレット配布を行いました。また、富山県THP推進協議会事務職として富山県産業安全衛生大会での健康増進コーナーにて「AGE(終末糖化産物)測定」を用いて体内の「焦げつき」度合チェックを行いました。

区分	令和6年度	令和5年度
広報誌発行	8,640部	8,540部
健康セミナー(参加員数)	55人	301人

III. 予防医療事業(他1事業)

1. 巡回健診および施設健診

区分	令和6年度	令和5年度
巡回健診(集団健診)	235,870件	232,776件
健康管理センター(施設健診)	23,889件	26,844件
高岡総合健診センター(施設健診)	35,645件	34,857件
とやま健診プラザ(施設健診)	58,329件	46,217件
定期健康診断等	181,465件	177,647件
雇入時健康診断	3,116件	3,118件
特殊健康診断	38,235件	63,980件
その他検査等	33,870件	10,968件
生活習慣病健診	62,805件	53,915件
ドック健診	7,274件	6,606件
住民検診	11,161件	17,289件
学校健診	8,899件	11,075件
精密検査の勧奨	6,732事業場	5,860事業場

※特殊健康診断および住民検診について、令和6年度より受診者ベースの集計方法に変更となっています。

2. がん検診

区 分	令和 6 年度	令和 5 年度
肺がん検診	176,781 件	169,534 件
胃がん検診	43,584 件	43,301 件
大腸がん検診	83,780 件	78,481 件
乳がん検診	21,053 件	19,111 件
子宮がん検診	17,067 件	15,215 件

3. クリニック(千代田循環器内科クリニック)

新型コロナウイルス感染対策を行いながら通常診療とコロナ陽性患者の診療を行いました。一般患者や健診受診者への感染を防ぐために感染対策を行い患者の導線にも配慮しました。

健康診断後、受診を勧められ循環器内科外来や糖尿病外来等、専門外来での管理を求める方が多く初診患者の増加につながりました。

区 分	令和 6 年度	令和 5 年度
患者総数	5196 人	5,100 人
初診患者数	599 人	544 人
労災 2 次健診受診者数	109 人	78 人
新型コロナワクチン接種事業	174 人	2,052 人

IV. 健康づくり支援事業(他1事業)

1. 健康づくり支援

労働安全衛生法や高齢者医療確保法、健康増進法等に基づき、医師や専門スタッフを職場に派遣し、有所見者に対する保健相談や特定保健指導を行いました。その他、保健・運動・栄養スタッフを派遣し、出張教室を行いました。

また、特定保健指導では施設健診同日の初回面接実施に力を入れ件数を増やすことができました。遠隔での健康サポートでは、特定保健指導で 47 件実施しました。令和 2 年度から協会けんぽ富山支部より委託を受けて実施している巡回健診当日遠隔面接支援事業については、事務職員等を 64 会場 98 人分派遣し対象者 356 人中 177 人に対して支援を行いました。

昨年よりウェルネスケアセンターで社内外の健康経営支援活動に力を入れるようになり、令和 6 年度も引き続きとやま健診プラザと高岡総合支援センターにてヘルスリテラシー向上セミナーを毎月 1 会場 1 回開催しました。また、9 月に 1 事業所出張型の健康イベントを開催しました。

さらに、重症化予防のための取り組みとして、ホームページで二次検査協力医療機関を紹介し、協会けんぽ富山支部から委託を受けて実施している要治療者への架電業務もウェルネスケアセンターのみではなく、とやま健診プラザ、高岡総合健診センターでも実施を開始しました。

区分	令和6年度	令和5年度
運動・栄養・健康教室(訪問)	22回	30回
産業保健相談	1,017人	940人
特定保健指導	3,863人	3,239人
電話保健相談	263件	183件
ヘルスリテラシー向上セミナー	24回	12回
要治療者への架電業務	141件	56件

2. メンタルヘルス

第14次労働災害防止計画に基づき、ストレスチェックの実施にとどまらず、集団分析結果をもとにした職場環境改善の取組みを支援しました。また、R4年度より中小企業に設置が義務化された「ハラスメント相談窓口」についても、短期サポート契約ならびに年間契約事業場を対象に、外部相談窓口を設置しました。

50名未満の小規模事業場に対しては、ストレスチェック事後サポート契約「スタートアップ」の付帯を一層推進し、小規模事業場の心の健康づくりに貢献しています。

区分	令和6年度	令和5年度
教育研修・セミナー	38回	45回
EAP(従業員支援プログラム)サービス	74社	79社
ストレスチェック(全衛連方式)	44,286人	44,978人
カウンセリング	347回(うちWEB13回)	351回(うちWEB9回)

V. 富山市角川介護予防センター事業(他2事業)

2024年4月1日から、市の指定管理委託(5年間、第4期目)の4年目をスタートした。利用者数は、75,680人(2023年度:70,362人、対前年度107%)、開館からの延べ利用者数は98万人となりました。

区分	コース	令和6年度	令和5年度
基本事業	QOL ツアー	746人	751人
自主事業	運動温泉会員	359人	437人
	ビジター	9人	4人
	メタボ教室	177人 (特定保健指導16含む)	165人 (特定保健指導13含む)
	ロコモ教室	28人	29人
	脳活性化教室	94人	114人
	パーソナルケア	193人	358人
	自律神経検査	296人	27人
	フェルデンクライス	135人	135人
委託事業	事業対象者事業	123人	94人
	角川オンライン教室	0人	3人
イベント	気候療法	148人	157人

※人数集計は2月時点

VI. 職員数

(正職員)

	令和6年度	令和5年度
医師	16名	18名
看護師・准看護師	43名	38名
診療放射線技師	22名	20名
臨床検査技師	26名	25名
保健師・管理栄養士	13名	14名
その他職員	96名	104名
合計	216名	219名

VII. 理事会・評議員会の開催

○理事会

第1回	令和6年5月	事業報告、計算書類、公益目的事業計画実施報告の承認、評議員会の招集の決定
第2回	令和7年3月	事業計画書および収支予算書の決議

○評議員会

第1回	令和6年6月	事業計画書および公益目的支出計画実施報告書等の報告 役員の選任
-----	--------	------------------------------------

■ 附属明細書について

附属明細書に記載が必要事項は財務諸表の注記に記載しており、また事業報告の内容を補足する重要な事項もないため、附属明細書の作成を省略する。